

海況速報（クロロフィルa分布）

平成29年9月20日

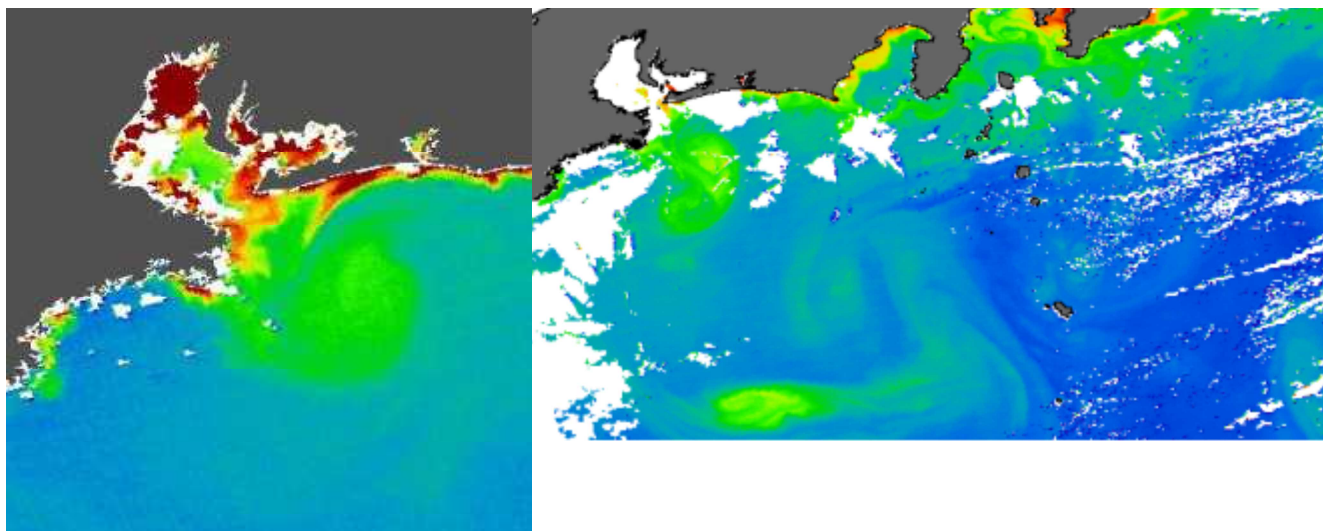
愛知県水産試験場 漁業生産研究所

9月18日の人工衛星クロロフィルa画像を見ると、クロロフィルa濃度は、伊勢湾奥部、三河湾、渥美半島沿岸、志摩半島沿岸で高くなっています。渥美外海では内湾の水が降雨により流出し、9月8日に比べると濃度が高くなっています。

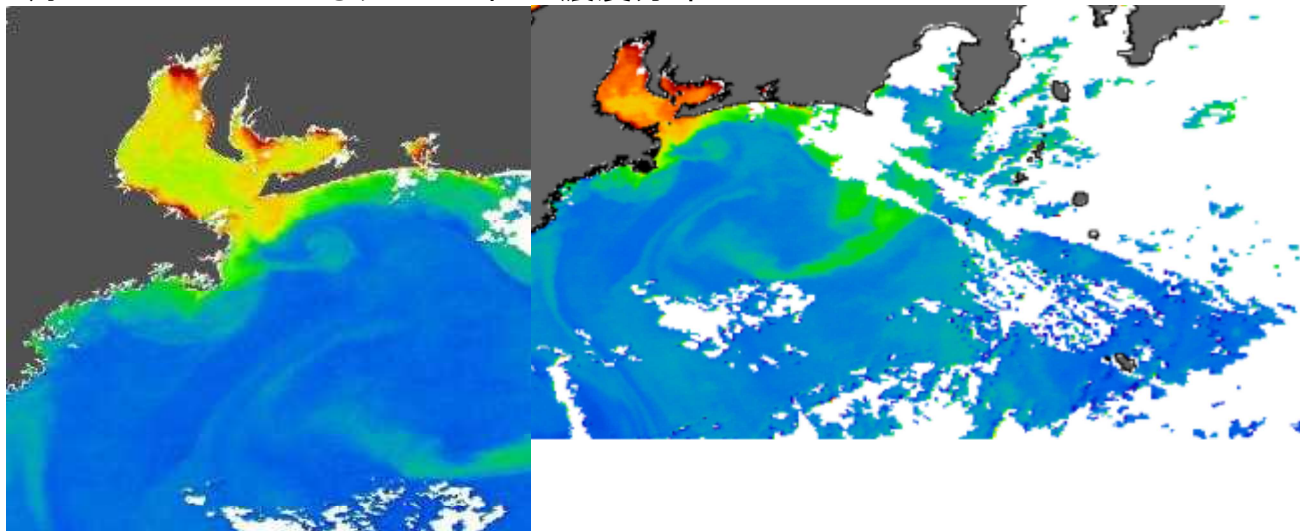
クロロフィルa濃度の経時変化を見ると、伊勢湾では8月以降横ばいとなっています。三河湾では8月上旬から増加傾向となっていますが、昨年を下回る濃度で推移しています。湾口域と渥美半島沿岸域では9月中旬に一時的に高い値となっています。渥美外海では7月中旬から緩やかに増加しています。

(宇宙航空研究開発機構(JAXA)／東海大学(TSIC/TRIC)提供のMODIS画像)

9月18日のAQUAによるクロロフィルa濃度分布(広域図は9月19日)



9月8日のAQUAによるクロロフィルa濃度分布



※画像データによるクロロフィルa濃度は、実際の濃度と異なる場合があります。また、詳細図と広域図で内湾域の濃度に誤差が生じることがありますので、目安としてご利用ください。

海況速報（クロロフィルa濃度の変動）

平成29年9月20日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

人工衛星 AQUA に搭載された MODIS センサーから得られた表層クロロフィル a 濃度をモニタリングしています（9月19日までのデータ）。

